



生徒の実演をお目にかいたり、また荒木文部大臣はじめ、大臣がかわるたびに三人も文部大臣が兄の実演を見られたのでした。国際心理学会でも発表されたのでした。それほどの実績を持っているのです。日本の教育革命は兄の研究が広く行われることであると、私はいつも言っていたのでした。知的教育に関する限り、短期効果的に成果を挙げる画期的な新教授法でした。

速記についても同じです。これを科目として教えるばかりでなく、カタカナ、ひらがなと同じように速記がなを教えるようになったら、日本はどんなに立派な国になるだろうと思うのですが、政治力がないため思うような運動ができないのはまことに残念です。